

第2章 美馬市の現状

1. 地域の特性



総面積：367.38km²（県全体約8.9%）
 ※可住地が73.74km²（総面積の20.1%）

＜美馬市の人口（平成17年10月1日現在）＞

人口 34,565人（男 16,348人 女 18,217人）
 世帯数 11,902世帯（2.9人/世帯）

＜美馬市の地形と面積＞



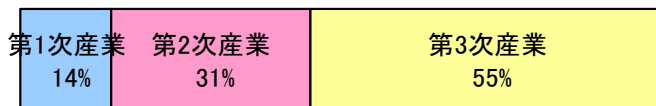
＜美馬市全体の地域特性＞

- ・気候は瀬戸内型気候に属し、年間を通じて比較的温暖な気候です。
- ・市内には歴史的資産が多く残されています。「うだつの町並み」は、江戸から明治にかけて藍で栄えた往時を偲ばせる文化的価値の高い通りです。



うだつの町並み

平成17年産業別割合



- ・産業別就業者は第3次産業が最も多く、第2次、第1次産業の順となっています。（平成17年国勢調査）

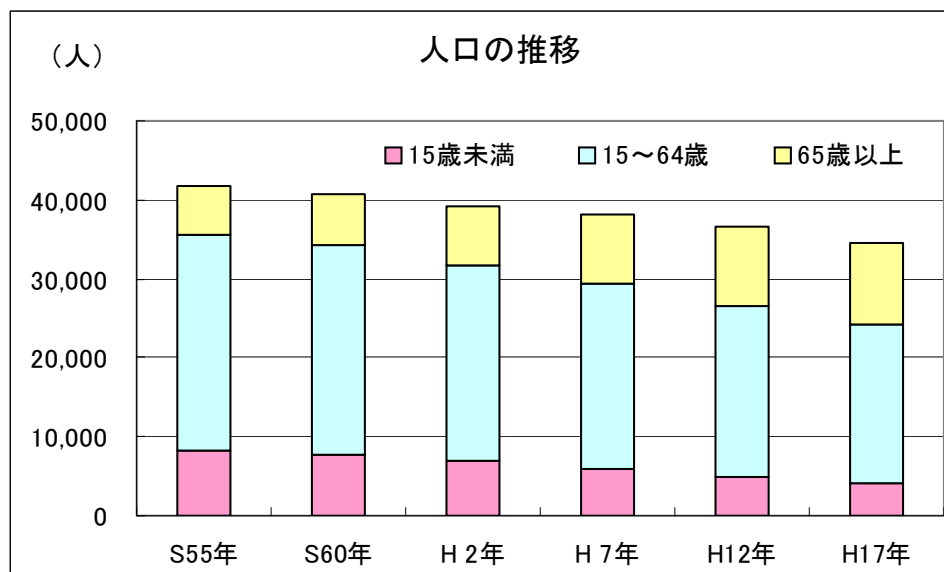
- ・農業は総農業数3,314戸あり、専業477戸、兼業1,167戸、自給的農家1,670戸となっています。（農（林）業センサス）
 ※自給的農家・・・経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいいます。

- ・作物は大豆・かんしょが、果樹でははっさくや柿が多く作られています。
- ・商業は小売業が多く、業種構成では飲食料品が40.1%、その他（医療品・化粧品・燃料等）33.9%となっています。（徳島県の商業 平成16年版）
- ・総面積が広く、自動車が不可欠なため自動車保有率が高くなっています。

2. 人口

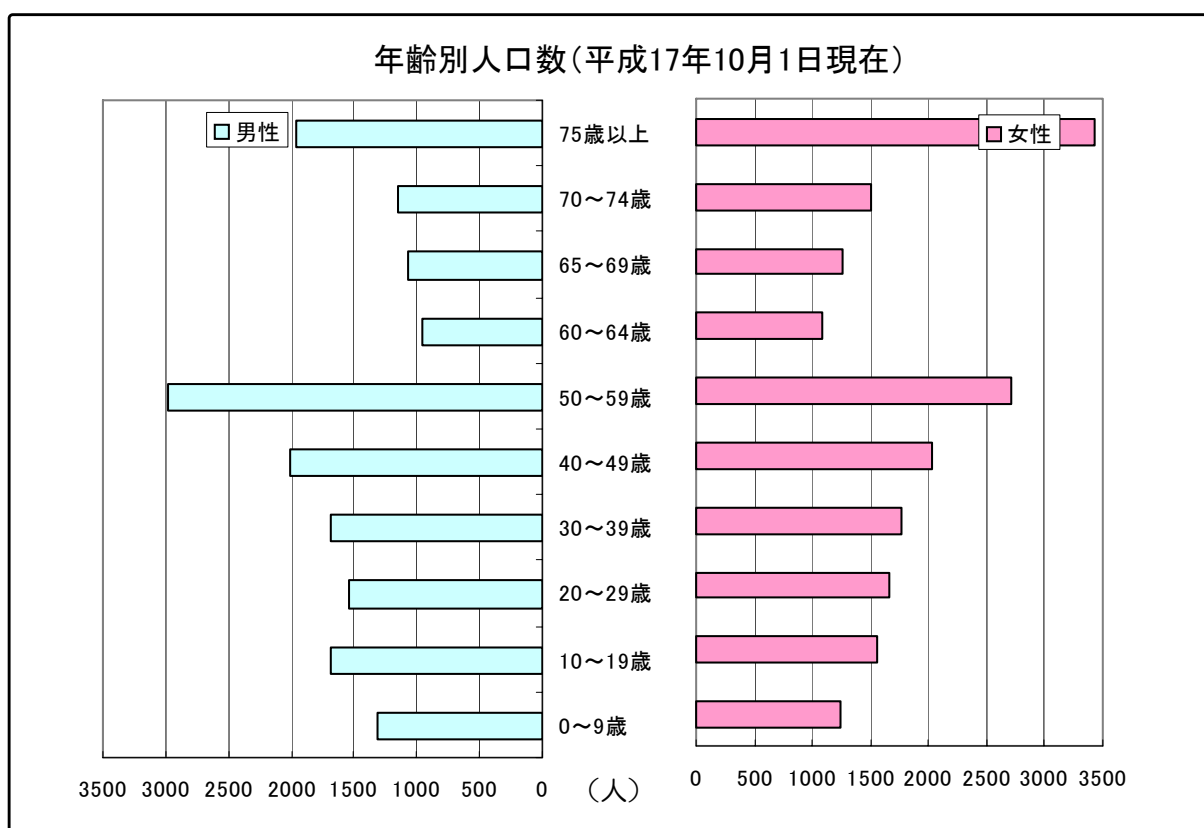
平成17年10月1日現在の人口は34,565人（男:16,348人女:18,217人）となっており、合併後も美馬市の人口は年々減少し続けています。平成12年国勢調査と比較すると人口は2,067人減少しています。世帯数は11,902世帯であり平成12年と比較すると45世帯増加しています。

また、65歳以上の人口は平成17年10月1日現在で10,367人であり、年々増加しています。



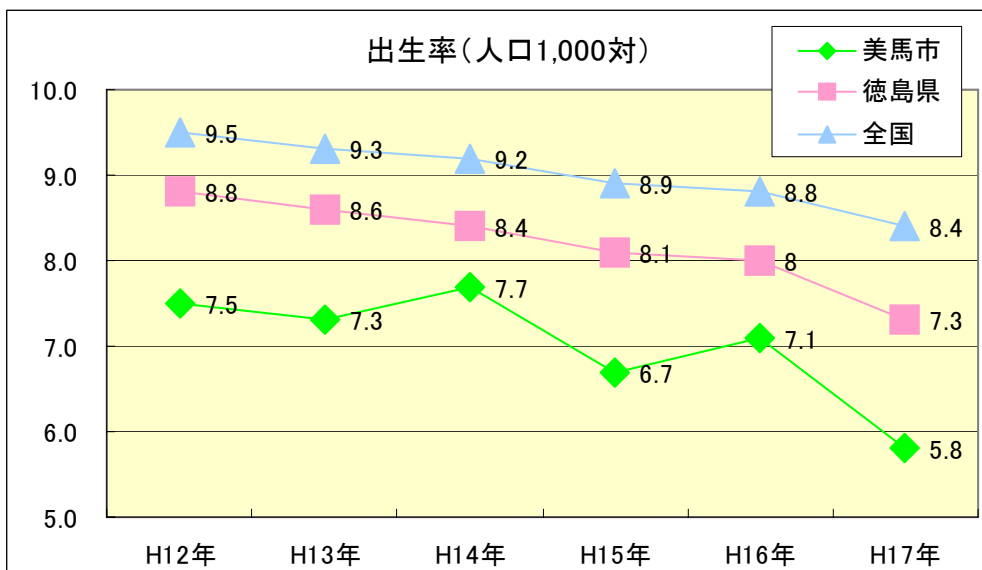
資料：平成17年徳島県保健・衛生統計年報

🔍 美馬市も年々高齢化が進んでいます。65歳以上の人が人口の30%を占めています。



資料：平成17年徳島県保健・衛生統計年報

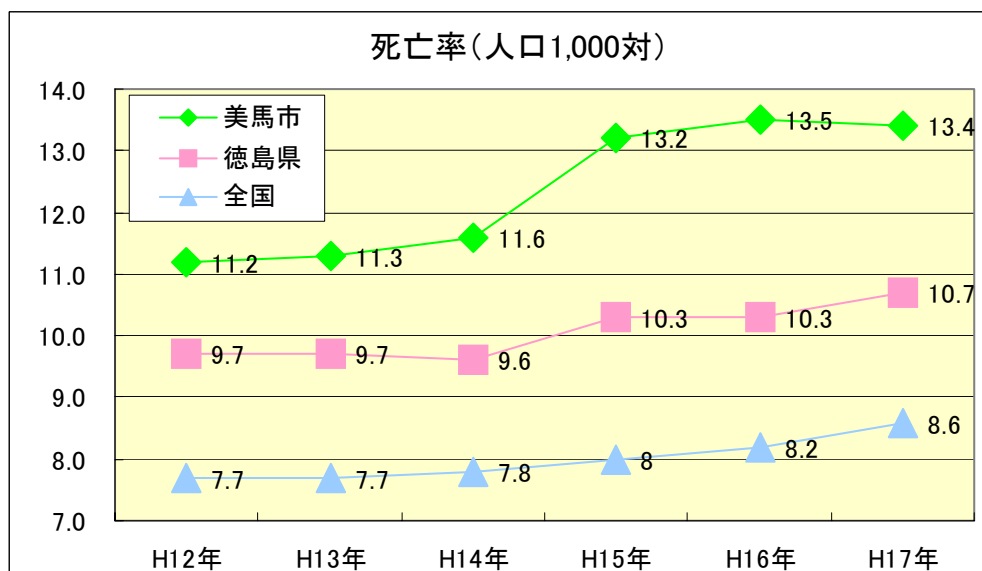
3. 人口動態



全国・県と比較すると美馬市の出生率は低い状況にあります。年々減少傾向にあります。



全国・県と比較すると美馬市の死亡率は高い状況にあり、増加傾向にあります。

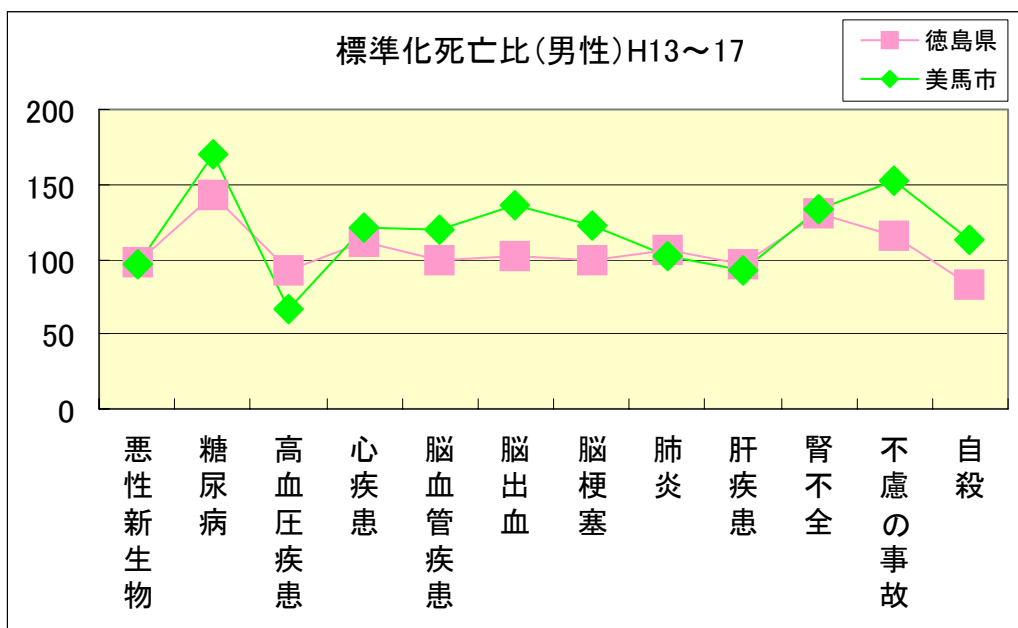


資料：平成12～17年徳島県保健・衛生統計年報

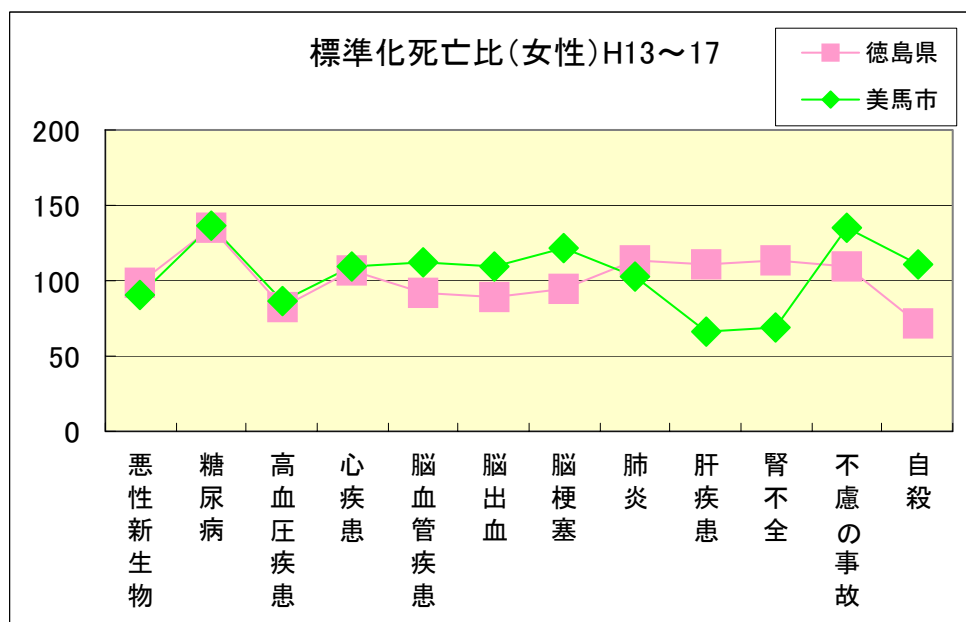
出生率(人口1,000対)
 $\text{出生率} = \frac{\text{出生数}}{\text{人口}} \times 1,000$
 死亡率(人口1,000対)
 $\text{死亡率} = \frac{\text{死亡数}}{\text{人口}} \times 1,000$



4. 標準化死亡比



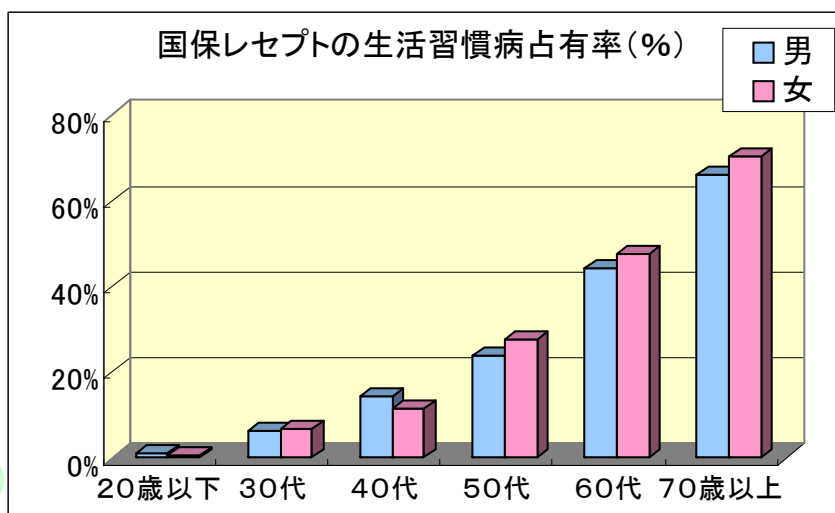
全国を100として比較すると美馬市は男女ともに糖尿病による死亡比が非常に高くなっています。
男性:170 女性:137



美馬市は男女ともに心疾患や脳血管疾患などの血管障害による疾患の死亡比が高くなっています。

標準化死亡比とは、人口の年齢構成を補正して比較するための指標。全国と同じであれば100とする。
資料：平成17年徳島県保健・衛生統計年報

5. 診療報酬明細書(レセプト)の生活習慣病占有率



20歳代から生活習慣病が発症しており、40歳代で急増しています。



レセプトとは「患者さん」が受けた診療について「医療機関」が健保組合などに請求する医療費の明細書のことです。診療や処方した薬の費用が記載されています。

資料：平成17年9月分国保レセプト

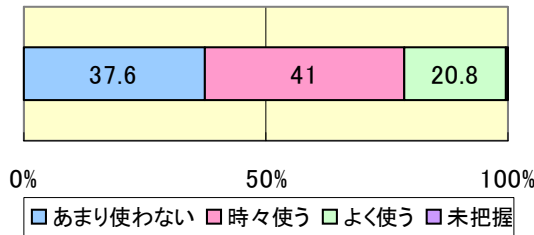
6. 世代別の健康

乳幼児期（0～6歳）の健康

資料：平成17年度乳幼児健診問診票



乳児の市販の離乳食の使用状況

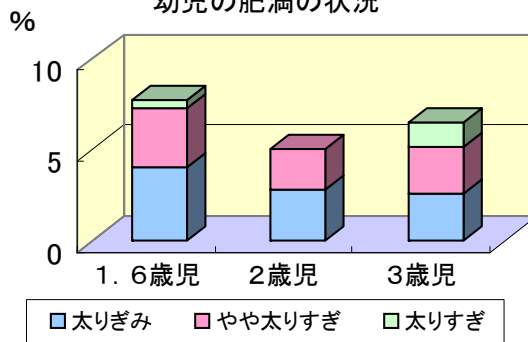


乳児期では乳児の20%が市販の離乳食をよく使っています。



3歳児では約6%が肥満！！

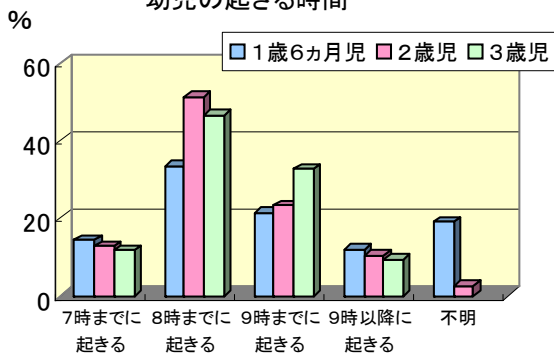
幼児の肥満の状況



その生活背景は？

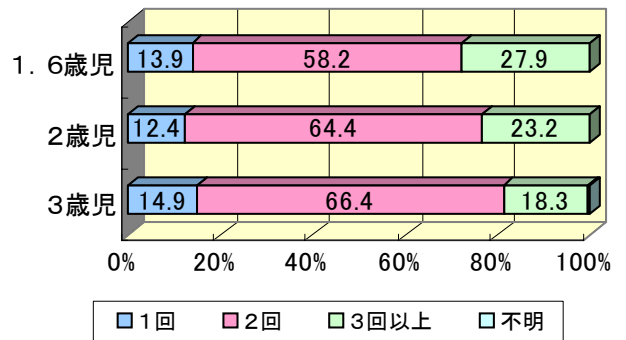
生活習慣など（遅い起床就寝時間・不規則なおやつ・むし歯）が原因になっているのでは…

幼児の起きる時間



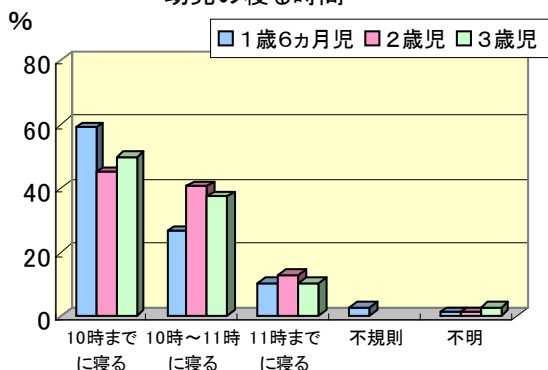
ほとんどの幼児が7時以降に起きています。

幼児のおやつの回数



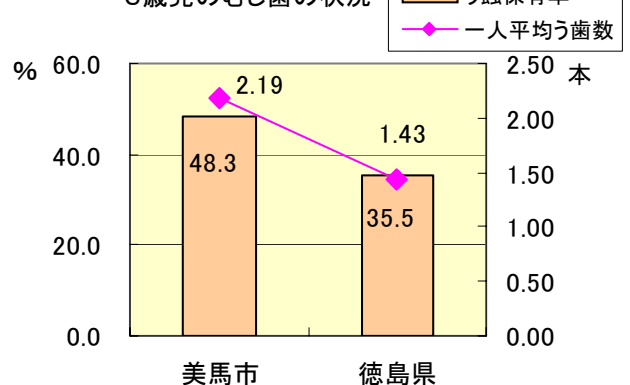
幼児の20～30%がおやつを1日3回以上食べています。

幼児の寝る時間



半数近くの幼児が夜10時以降に寝ています。

3歳児のむし歯の状況

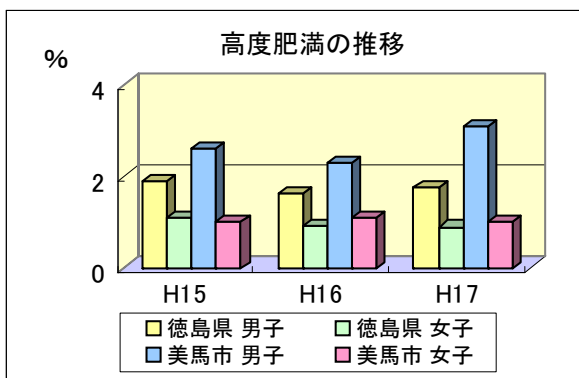
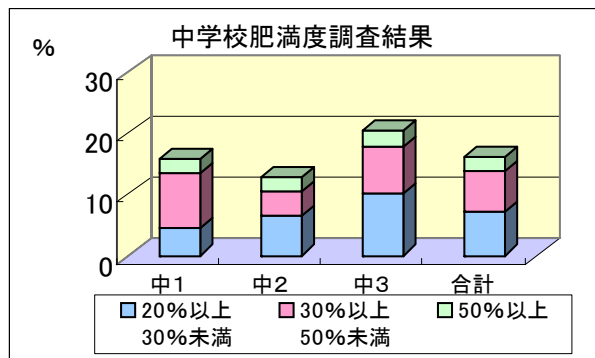
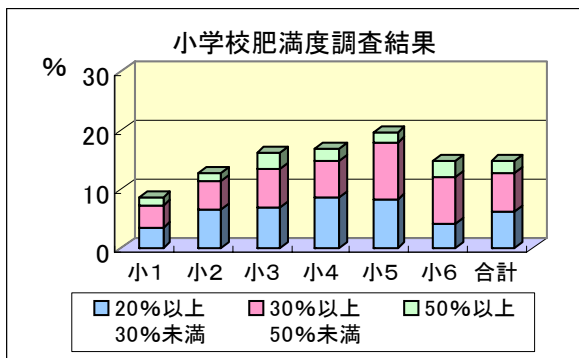


3歳児ではう蝕保有率・一人平均う蝕数が県より多くなっています。

学童期（7～15歳）の健康

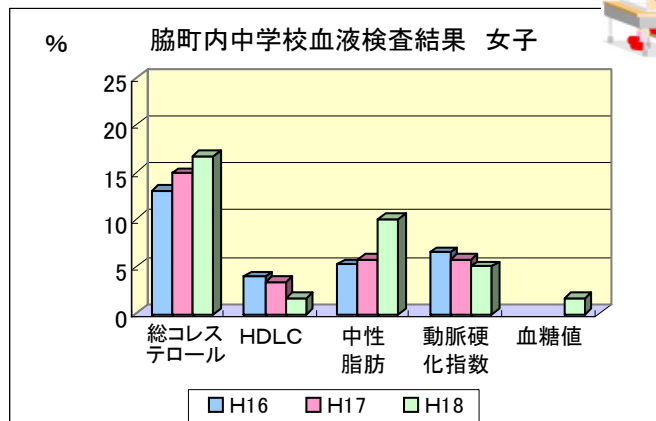
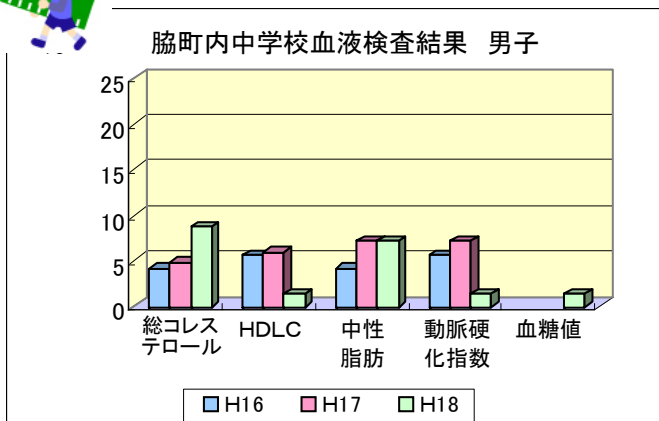
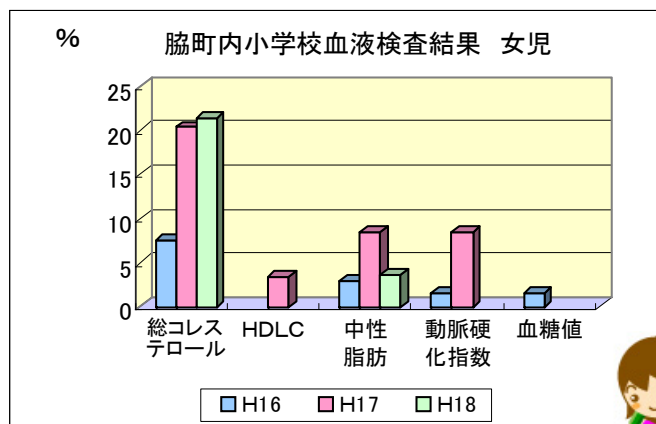
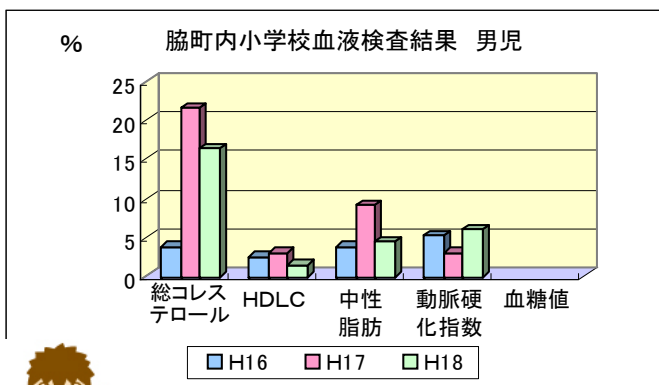
資料：小中学校養護部会より提供
※肥満度はあわっこ（徳島）に基づく

☀️ 小・中学生の約15%が肥満



🔍 中学生の高度肥満（50%以上）の割合は男女ともに県と比較すると高く、特に男子が高くなっています。

☀️ 小児生活習慣病が出現している

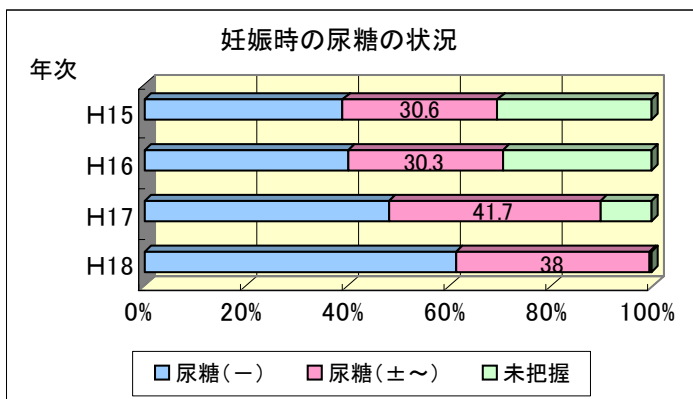


🔍 以前から血液検査を実施している脇町内小中学生の血液データを見ると、総コレステロール値の高い児童が10～20%、低HDLC（HDLコレステロール）や高中性脂肪も認められ、脂質異常の割合が高くなっています。また、血糖が高い児童も数名おり、血糖値が要医療の児童もいます。


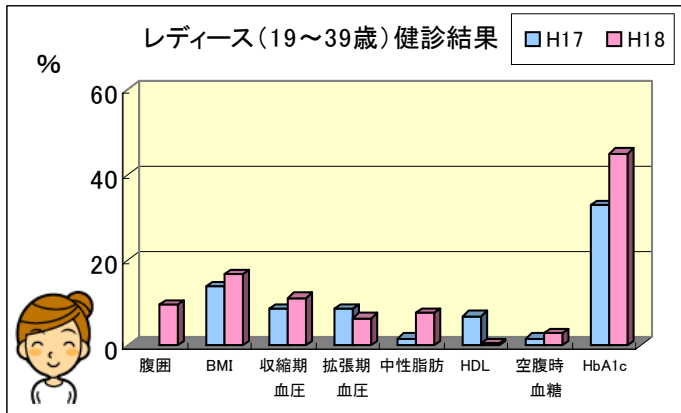
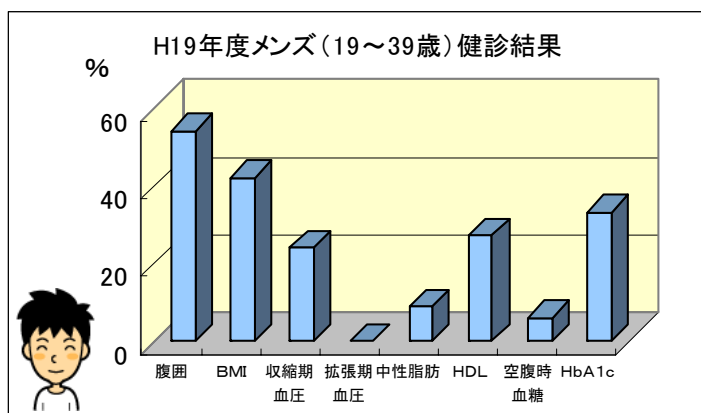
青年期（16～39歳）の健康

資料：健診データ

☀️ 生活習慣病予備群の人が増加している



🔍 平成17・18年の妊娠届け出者で、結果を把握している妊婦では半数近くが妊娠中の検尿結果で尿糖(±~)が出現しています。

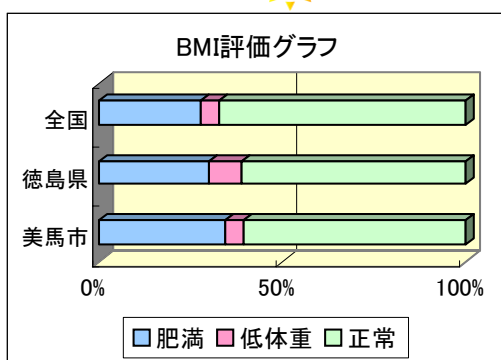
🔍 男性では肥満+血圧・脂質・糖代謝異常の人が多く見られます。

🔍 女性では男性に比べて肥満、血圧・脂質異常の人は少ないですが糖代謝異常の人が多く見られます。

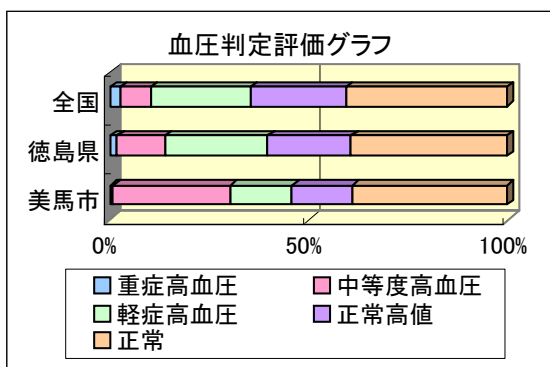
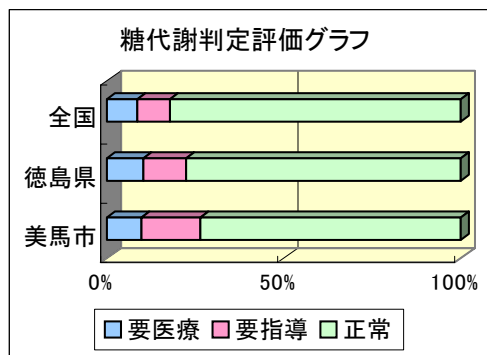
壮年期（40～64歳）の健康

資料：平成17年度 基本健康診査健診データ


☀️ 生活習慣病の発症！！



BMIとは肥満度をみる指数。
 $\text{体重(kg)} \div (\text{身長(m)} \times \text{身長(m)})$
 で表し25以上を超えると肥満となる。



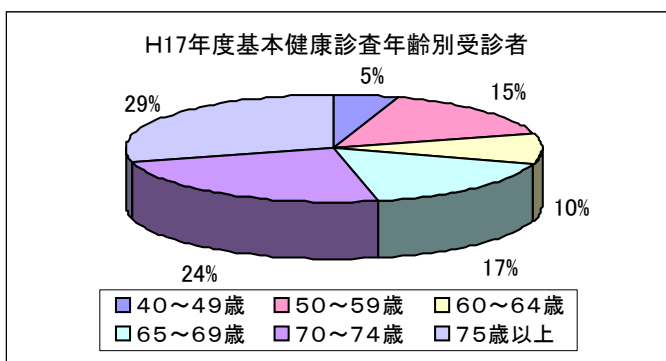
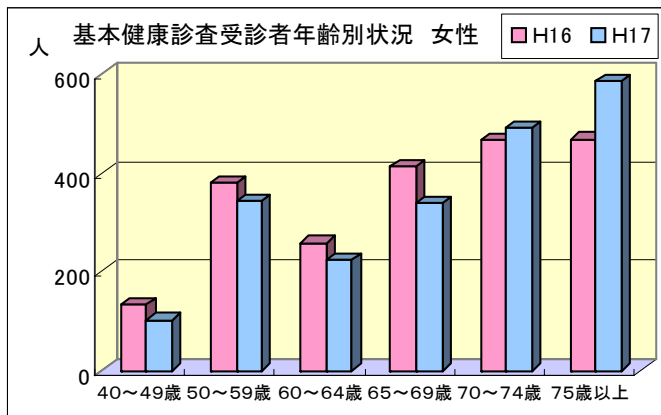
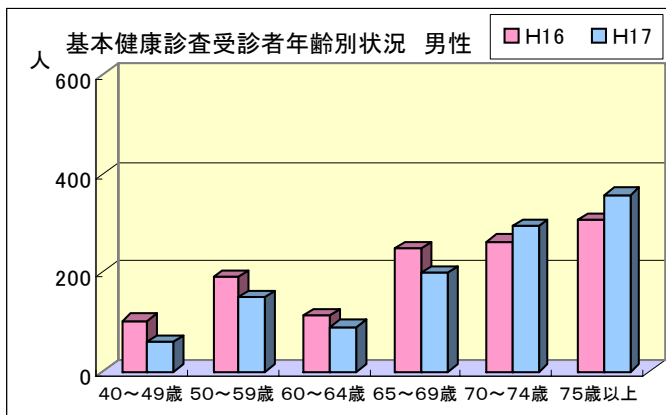
🔍 H17年度の基本健康診査の結果を県と比較すると、美馬市は肥満、糖代謝、血圧異常の人の割合が多くなっています。



壮年期（40～64歳）の健康

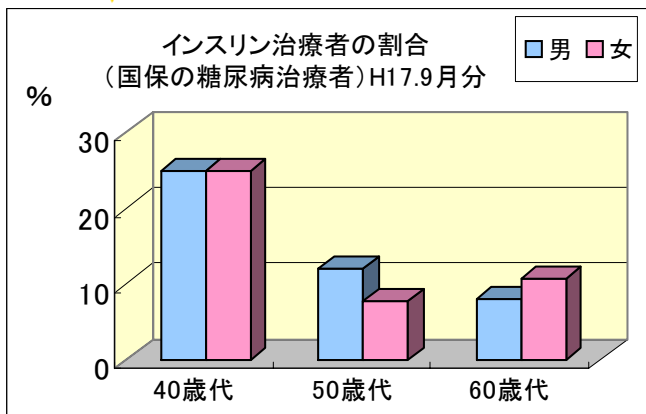
資料：平成17年度基本健康診査
平成17年9月分国保レセプト
平成19年2月分介護保険データ

☀️ 壮年期・男性の健診受診者が少ない

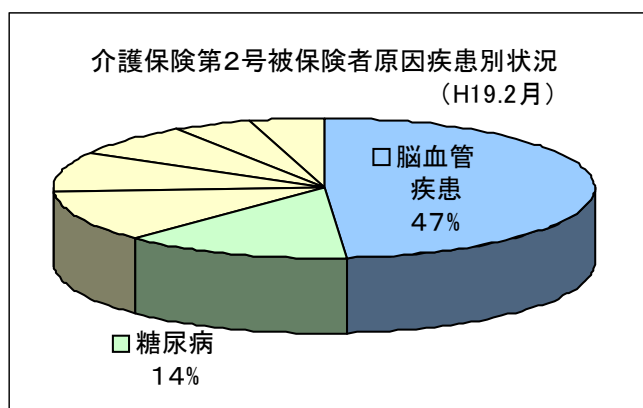


受診者の年代をみると40～64歳の受診者が少なく、また、男女を比較すると男性の受診者が少ない状況です。

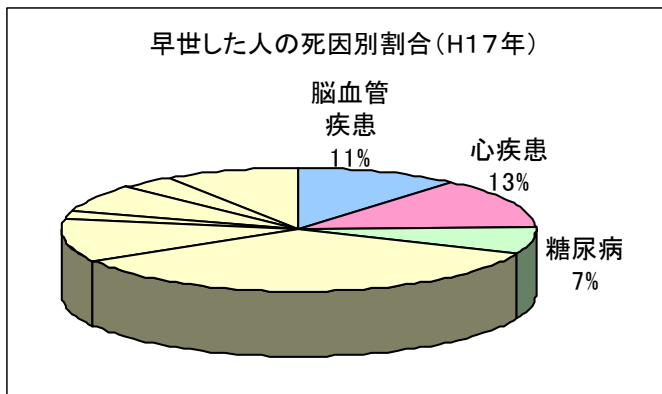
☀️ 生活習慣病の発症・重症化と生活習慣病から起こる血管障害の出現



40歳代の糖尿病治療者の25%がインスリン治療を受けています。



介護保険の第2号被保険者で介護保険サービスを利用している人の原因疾患をみると生活習慣病の血管障害によるものが60%を占めています。



14 早世（65未満の死亡）の原因となった主要疾患をみると生活習慣病から起こる血管障害が30%を占めています。

総コレステロール
細胞膜やホルモンの材料になるなど血液中の重要な脂肪ですが、多すぎると動脈硬化につながります。

HDLコレステロール
血液中の余分なコレステロールを肝臓に運び役割りがあり「善玉コレステロール」と呼ばれています。

中性脂肪
ブドウ糖が不足した場合に補うエネルギー源ですが増えすぎると肥満につながります。

血糖
血液中のブドウ糖（血糖）が多い状態が糖尿病です。HbA1c（グリコヘモグロビン）は2～3ヶ月前からの血糖を知るための検査です。

